

お西さん

2002
9-10



大沼にて

このところ政治家、商社などの不祥事が次々と報道され、腐敗の構造の深さを知らされます。

かつて、京都大学の学長であった岡本道雄さんが、卒業生に「脳の機構を見れば、いかに抑制が大切なものかがわかる。抑制の効いたバイタリティーが大切で、車もエンジンだけでは使えず、これにブレーキがかかって初めて実用に耐える。安易に現実の流れに沿った性に従って生き、社会的責任を忘れ、個人の企業の利潤、私利私欲に狂奔するなどは自己抑制の欠如の表れだ。世間を騒がしている商社のスキャンダルもそれだ」と自己抑制の必要を強調して、社会に踏み出す心構えを説かれています。自己の権利と利益の追求には、手段を選ばないという、独善と偏見の姿こそ、今日の私たちの姿ではないでしょうか。親鸞聖人は「限らない欲望と、名誉、利益の為に迷い、まどい、正しい道歩むことを喜ばない自分が本当に悲しい、恥ずかしいことだ」と、お嘆きになっています。

輪番 吉川孝臣

「なごみ」の寺 **本願寺函館別院**

函館市東川町12-12 ☎(0138)23-0647

**報恩講のため10月11日(金)~17日(木)まで
月忌参りはお休みさせていただきます。ぜひ、ご本堂にお参り下さい。**

前門様葬儀

七月十八日
京都本山総御堂

前号でお知らせ致しましたように、六月十四日前門様のご遷化になられました。六月二十二日前裏様(奥様)の三回忌を前に、十七日に茶毘式(密葬)が執り行われ、七月十八日京都本山・総御堂におきまして葬儀が厳修されました。真宗各派の宗主をはじめ、仏教各宗派の代表、キリスト教等の宗教関係者、政財界、国際機関、宗門役職者、別院輪番、関係団体代表他、全国からの僧侶、門信徒約一万三千人が境内狭しと会葬されました。閉門まで後を絶たない参拝の方々、ご遺徳が偲ばれます。

外陣正面の莊嚴壇に五具足のお飾り、両脇に五十種(百基)のお供物、

その脇に白菊の花が飾られました。会葬者が唱和する正信偈の声、お念仏が本山一帯に響き渡りました。

全国の別院でもこの

日追悼法要が営まれ、当別院でも約四十名の参列者と共に、前門様のご遺徳を偲びながら、正信偈のお勤めを致しました。

また多くの方より頂きました弔意の記帳は、本山に届けさせて頂きました。前門様は昭和二十年から五十二年まで五十年間にわたり「門主」として、激動の時代に宗門の近代化や海外開教の推進など数々の改革を行われ、今日の興隆を導かれました。ご引退後「前門」として教化伝道を続けられ、宗門の發

展に力を注がれました。「函館別院の「住職」でもあられた前門様、そのご化導に感謝の思いを新たに、哀悼の意を表すものです。



西別院での追悼法要

脇坂

ようこそ函館へ

布教使さん
紹介

『兵庫より、はじめまして』



兵庫教区
城崎組 国正寺
小玉 大誠氏

道南と呼ばれています函館地方にお住まいの、お念仏行者の皆様へ初面のご挨拶を申し上げます。

可思議を今更の如くに痛感している私でもございます。

昭和三十五年の一月に始まりました四十数年間に及ぶ布教の実働年数をもち、北海道にはその三十五年の四月に來させて頂いて、以後八年間毎年ご縁を頂きながら、そして今年に到ります長い年月の間、時折には道東・道央・道北と巡らせて頂きながら、皆様には初面のご挨拶をさせて頂く私でございます。

昭和四十二年四月の事でございました。未だ祖国復帰のなされていなかった沖繩へ、開教使として派遣されたものでございました。本願寺の、沖繩へ対する、第二次大戦終了後の正式な開教の始動でもありました。私は沖繩の現地へ渡って、トタン小屋から生活を開始したのであります。

去る四月には、四十二年ぶりの空知北線を巡訪させて頂いたことを思う時「縁」の巡り合わせの不

僧侶に接したことの無い様々な生活の中で、当時の沖繩の人達の多くは私の開教を初めからうとんじたのでございます。

その中を私は、私立興

南高校の国語科担当の教諭として勤務させて頂きながら、私で知り得る限りをつくし、私で出来る限りをつくして、宗教と仏教のなんたるかを住む人達に伝えようとしたものでございます。

御当地北海道も開教地でございます。しかしこの開教地は、内地の方たちが集まった集合体の心が原点にあったと伺います。が、沖繩にはそれがありませんでした。沖繩の歴史がつづる悲劇が、そのまま宗教的仏教的悲劇でもあったのであります。今回のご縁は、四十八年一杯途続きました沖繩開教使としての私を振り返りながら、その中で供に味わったお念仏の尊きを、皆様方と分かち合えましたならば、痛感の思いしきりではある、私でもあるのでございます。

秋季彼岸会

日時

九月二十二日(土)

午後一時三十分より

台町彼岸会

九月二十二日(日)

二十四日(火)

東川町本院本堂にて

講師

北海道教区胆振組 皇恩寺

増山 顕佑氏

※本院納骨堂及び台町墓地におきまして

二十二日(日)～二十四(火)迄おつとめを致します。

※二十三(月)は本院にてラムネとおだんごを

用意致しますのでどうぞご利用下さい。

※秋のお彼岸は、お花の販売は致しておりません。

宗祖親鸞聖人

報恩講

いよいよ「ほんこさん」の季節ですね。地域によつては「報恩講」のことを親しみを込めて「ほんこさん」と呼んでいます。では、どのような行事でしょうか。私たちの年中行事で最も大切な法要が報恩講です。

親鸞聖人の前で「おかげさま」と手を合わせてみましょう。何かが見つかるかもしれません。別院では毎月十五日、十六日を連夜、ご命日としてお勤めし、十月十三日から十六日を報恩講として、賑々しく勤められます。また報恩講では、お斎の接待が楽しみでもあります。お斎(とき)とは精進料理の会食のことです。

とで、昔はお参りの方々が自分の所で取れた野菜等を持ち寄り、調理をして法要の後を、楽しんでさうです。西別院でも手作りの、お斎の接待がございますので、法要にお参りをして、お斎を戴きながらご法義の話などされてはいかがでしょう。

脇坂

日時

十月十三日(日) 午前十時より

台町報恩講

十月十三日(日)～十六日(水)

東川町本院本堂にて

講師

北海道教区上川北組 尊光寺

教重 文雄氏

秋彼岸

布教によせて



北海道教区
胆振組 皇恩寺
増山 顕佑氏

例年になく寒い夏ではありましたが、また、景色も食べ物も素晴らしい函館の地を訪れる縁を戴き誠に有り難うございます。

実は小生は布教では二度目の縁ですが、今年で九年来、毎年の七月のお盆で、台町の墓苑を駆けずり回りながら読経させていただいている者でございます。職員の方々は勿論のこと、私のことを存じの御門徒の方々の中には居られることと思います。ですから少々緊張と不安とが入り交じった心境ではございますが、皆様にお会いできる期待と楽しみが湧いてまいります。

遠くに朋が居るということは、その不安をやわら

げてくれるものでございます。思えば阿弥陀如来様がお作り下さったお浄土もそうでありました。常に生きる苦しみや死の恐怖を抱えながら、その死後までも冥土(めいど)真(ま)暗(くら)な世界として捉えてしまう私達に、阿弥陀様がお慈悲(やさしさ)と智慧をふり向けて下さり、誰もが仏と成る世界(浄土)を御用意して下さいました。

不安を抱えながらおほかたつかない足どりの私達に、慶びを与えて下さる阿弥陀如来様のお取り次を、三日間ではございますが、精一杯させて戴く所存でございます。皆様のお参りをお待ち申し上げます。

称名

盆おどり スナップ集

今年の盆踊り大会は8月11日(日)に行われました。準備をしている時から天気が悪く当日も心配されましたが、なんと当日も雨天!!私が別院によしていただき7年経ちますが、初めての文化会館での盆踊り大会となりました。よって職員は朝から大慌て。なにはともあれ、なんとか無事に開催しました。



太鼓と音頭で盛り上がり、6時にはいよいよ大会がスタートです。子供たちのかわいい踊りで楽しんだ後は、YOSAKOIの「いさり火」と「紅孔雀」による激しい乱舞。そして民謡歌手の方による生ライブの中での盆踊り等、楽しい時間をすごさせていただきました。



そして忘れてはいけないのは各教化サークルや幼稚園によって催される出店の数々!!おでん、みそおでん、たこやき、やきそば、フランクフルト、やきとり、かき氷、わたがし、ビール、ジュース、そして風船、くじ引き、水風船と盛りだくさん。子供も大人もおいしく飲み食べ楽しく遊べて、皆様の満足そうな顔が印象的でした。

最後にはお楽しみ抽選会です。最初から司会をして下さいましたGプロジェクトさんが当選者の名前を読みあげるたびに一喜一憂。色々な景品があたり、参加いただいた方にはお喜びいただけましたことだと思います。



雨天の中、文化会館での盆踊りということで、例年より会場は狭くなりましたが、例年通りの盛り上がりで無事に閉会させていただきました時には、数日前より準備いただいた各教化サークルのみなさん、又、当日悪天候にもかかわらず参加下さいました多数のみなさまのおかげと思いました。来年もまたみんなで楽しみましょう。

石黒

おじいさん、おばあさん、教団、団体、だより

ボーイスカウト だより

七月の二十六日、二十八日まで函館三団(大谷派)と合同で恵山へ二泊三日の夏季キャンプへ行ってきました。

ボーイスカウト、カブスカウト、ピーバースカウト総勢二十四



名の子供たちと天気にも恵まれた中充実したプログラムの数々をこなしてきました。テントの設営、ラジオ体操、キャンプファイヤー、海水浴に登山、テントサイトの工作、食事の準備、などなど、普段学校や塾では学べないようなことをたくさん経験してき

た子供たちの顔は一回りもふた回りもたくましく、そして黒くなって帰ってきました。

高倉

通信教育

通信教育は、京都の中央仏教学院の通信教育のキャリアラム(入門・学習・専修の三課程)の中で、勤行(お勤め)を中心とした学習会となっており、堅苦しいイメージで受けとられる所があるかもしれませんが、毎月一回(基本的には八日)アットホームな雰囲気の中で、「正信偈」を中心にお勤めの練習をさせて頂いております。

お勤めに関心を持

たれている方、お勤めができるようになりたいと思われている方は、いらっしゃらないでしょうか。通信教育では、そういった皆様のご参加を心待ちにしております。是非、共々にお勤めさせて頂き、共々に喜ばせていただきたいものです。また、中央仏教学院の通信教育を受けてみたいと思われる方がありましたら、是非、ご一報ください。

西村



ゆく人



八木 晃紹

ありがとうございます。ごさいました。

七月二十一日付をもちまして、一身上の都合により本願寺函館別院を退職させていただきます。

別院奉職中は、公私にわたりひとかたならぬご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。多く

の尊いご縁をいただき有り難うございました。一人一人の出遇いのなかでお育てをいただきひとまわりもふたまわりも成長させていただきました。(体の方も...)ひとえに皆さまのご指導とご支援の賜物と心より感謝いたしております。今後、勉学に励みます。ご聴聞させていただきます。

みなさまにおかれましては、今後ともお元気で、お念仏相続いただき、こと心よりお願い申し上げます。

乙女のつぶやき

先日、高校時代からの友人と「セコ」へキャンプに行ってきました。天気はあいにくの曇り空だったのですが、羊蹄山を眺めながら、ワイワイ川下りをしました。

泳いで見ると、八月だというのに川の水はとても冷たかったです。

楽しい思い出とひきかえに、みんなの眉毛は川に流されてしまいました☆

古明地

「よんじそ常例布教へ」

●九月十二日(木)～十五日(日)
午後二時三十分より

兵庫教区城崎組 国正寺

小玉 大誠氏

●十月は、報恩講のためお休みです。

「お悔やみ甲しよびます」

「永代経懇まりがひんじまつました」

表紙の

写真



フリーカメラマン
本堂 敬子さん

秋の爽やかな風を受ける窓辺の小さなかぼちゃ達、きつと互いにささやくように会話を交わしているのでしょう。写真をはじめて7年目になります。お天気の好い日、曇りの日気まぐれに知らない小路を入って行くと、新しい発見がたくさんあります。人が見向きもしないような壊れたもの、錆びた物、ひなびた物にもとても趣を感じます。初個展は九十七年に西武デパートで、二度目は九十九年から二千年頭にかけ、ぎやらりー807にて開催しました。

テレホン法話順番表

- 9月 1日(日)～ 9月 7日(土)…神 田(副)
- 9月 8日(日)～ 9月14日(土)…脇 坂(副)
- 9月15日(日)～ 9月21日(土)…吉 村(参)
- 9月22日(日)～ 9月28日(土)…常例布教使
- 9月29日(日)～ 10月 5日(土)…彼岸会布教使
- 10月 6日(日)～ 10月12日(土)…高 倉(参)
- 10月13日(日)～ 10月19日(土)…石 黒(参)
- 10月20日(日)～ 10月26日(土)…報恩講布教使
- 10月27日(日)～ 11月 2日(土)…平 田(承)

24時間お好きなときにいつでもどうぞ

☎ 0138 27局 2424番

編集後記

▼これほど天気予報の当たることを恨めしく思ったことはない。別院の盆踊り、準備から雨、雨、何から手を付けよう、予報がっこうに好転しない。当日はせめて小雨であってほしい、いや上がるだろう。朝から風と雨、諦めて会場を会館に、はたして人は？予想以上に多くの参加、楽しく過ごしていただいましょうか。

脇坂

▼早いもので秋の彼岸会、そして十月の報恩講の時期になりました。毎年毎年「やりたい事」「したい事」は沢山あるのですが、「やりたい」と「やる」は大違い、そろそろ「やりたい」を「やる」に努力します。

高倉

▼今回のお西さんより編集をお手伝いさせていただく事になりました。みなさまと共に楽しいお西さんにしていただければと思いますのでよろしくお願ひします。

石黒

▼初めて北海道の夏を体験しました。予想以上に涼しく、というより、寒かった。これから秋、冬がやってくるというのに、どうなるのだろうか。寒さ対策を今から考えます。

岸井

学校法人

龍谷幼稚園だより

楽しかったね!!お西さんの盆踊り!!

◎8月11日のお西さんの盆踊り

雨が降っていたのにもかかわらず、浴衣やじんべいを着て盆踊りに遊びに来てくれたたくさん子ども達。くじ引きやヨーヨー釣りを何度も何度もチャレンジしたり、やきそばやわたあめ、そして肌寒かったのにもかかわらず、かき氷をとてもおいしそうに食べる、子ども達の顔が見られました。雨の中で、少し残念でしたが、それに負けないくらい、子ども達のとびきりの笑顔が見られ、夏の楽しい思い出のひとつとなりました。

そして、幼稚園のお父様、お母様方にもお忙しい中、お手伝いをして頂き、有難うございました。



こどものつふやき

【お弁当の時間】その1

お弁当を食べていて、ハエがM君の近くに飛んできて…
M君「しっしっ」と、言いながらハエを手ではらうと
Y君「しっしっ… あっ!CCレモンの事だあ〜。」
と、ニッコリ笑顔。
先生「うまい!! (笑)」



【お弁当の時間】その2

先生「M君の今日のお弁当はのり弁なの?」と、聞くと
M君「うん、そうだよ。」
この会話を聞いていたT君が…
T君「今日ねえ、僕のお弁当はねえ」と、お弁当のふたを開けてみると
「あっ、しろべんだあ〜!」
しろべんって何だろう?と思い、見てみると、ごま塩のかかったごはんの事でした。
先生「その通り!!!」



預かり保育

さんさん
燦燦
クラブ

ご案内

- ◎お仕事をしているお母さんのために
- ◎用事でしばらくみて欲しい人のために
- ◎幼稚園の保育がすんだあと夕方
6時30分までお預かりします

- ★対象 龍谷幼稚園児並びに2歳以上の弟妹
- ★担当 幼稚園の先生
- ★内容 保育終了後毎日/幼稚園振替日
夏・冬休み
- ★保育料 園までお問い合わせ下さい